平成 25 年４月 26 日

各　位

会 社 名　　フィデアホールディングス株式会社
代表者名　　代表執行役社長 CEO　里村　正治
コード番号　　8713　東証第一部
問合せ先　　専務執行役 CFO　原田　儀一郎
（TEL．022-290-8800）

平成 25 年３月期第４四半期の有価証券評価損及び平成 25 年３月期通期業績見通しについて

「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復があると認められないものについて、平成 25 年３月期第４四半期において減損処理による有価証券評価損を計上する必要が生じましたので、お知らせいたします。

あわせて、平成 25 年３月期通期（平成 24 年４月１日から平成 25 年３月 31 日まで）連結業績の見通しについてお知らせいたします。

記

１．平成 25 年３月期第４四半期における有価証券評価損

平成 25 年３月期第４四半期連結会計期間（平成 25 年１月１日から平成 25 年３月 31 日まで）の有価証券評価損の総額（＝Ａ－Ｂ）		1,906 百万円
	（Ａ）平成 25 年３月期第４四半期連結累計期間（平成 24 年４月１日から平成 25 年３月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	2,145 百万円
	（Ｂ）直前四半期（平成 25 年３月期第３四半期）累計期間（平成 24 年４月１日から平成 24 年 12 月 31 日まで）の有価証券評価損の総額	238 百万円

※　四半期末における有価証券の評価方法は、洗替え方式を採用しております。

※　当社の決算期末は、３月 31 日であります。

※　有価証券評価損の内容

①株式会社荘内銀行	105 百万円
②株式会社北都銀行	1,937 百万円
③パーチェス法適用による連結調整額	101 百万円
④当社連結ベース（総計）　①＋②＋③	2,145 百万円

③の連結調整額は、平成 21 年 10 月１日の経営統合にあたり、企業結合会計に従い株式会社北都銀行の保有有価証券を連結ベースで時価評価したことにより、当社連結上の簿価と同行の簿価が相違するために生じた、連結上の減損処理の調整額であります。

（次ページへ続く）

【本件に関するお問い合わせ先】
フィデアホールディングス　ＩＲグループ
大石　TEL：018-833-4211
佐藤　TEL：023-626-9006

２．当社の平成25年３月期通期（平成24年４月１日から平成25年３月31日）連結業績見通し

（１）連結業績見通し

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	47,000	6,800	4,100
今回発表見通し（B）	49,000	6,900	4,200
増減（B－A）	2,000	100	100
増減率（%）	4.2%	1.4%	2.4%
（ご参考）前期実績（平成24年３月期通期）	49,126	7,523	4,243

（２）見通しの理由

経常収益につきましては、有価証券利息配当金や売却益が当初計画を上回ったこと等により増加しました。経常利益、当期純利益につきましては、１．の通り、有価証券評価損が当初計画を上回りましたが、資金利益が当初計画を上回ったこと、経費や与信関係費用が当初計画を下回ったこと等を要因に増加しました。

【ご参考】子銀行の平成25年３月期通期（平成24年４月１日から平成25年３月31日）単体業績見通し

（１）株式会社荘内銀行

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	22,100	3,100	1,700
今回発表見通し（B）	22,300	3,700	1,800
増減（B－A）	200	600	100
増減率（%）	0.9%	19.3%	5.8%
（ご参考）前期実績（平成24年３月期通期）	22,429	3,461	1,460

（２）株式会社北都銀行

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	21,700	2,800	1,600
今回発表見通し（B）	23,400	2,000	1,200
増減（B－A）	1,700	△800	△400
増減率（%）	7.8%	△28.5%	△25.0%
（ご参考）前期実績（平成24年３月期通期）	23,568	3,204	1,522

以　上